教員おすすめ図書コーナー推薦書

教　員　氏　名 坪井　明彦　先生	おすすめメッセージ
① 図書名：グッド・ライフ―幸せになるのに、遅すぎることはない 著　者：ロバート・ウォールディンガー、マーク・シュルツ 出版社：辰巳出版　　ISBN：9784777830398	多くの人は、キャリアの成功が幸せにつながると信じているのではないでしょうか。 本書は、ハーバード大学による、84 年にわたる史上最長の研究―被験者数も最初の 724 人から、3 世代にわたる子孫を含む 1300 人超になり、現在も進化と拡大を続けている人の生き方に関する縦断研究―の知見が述べられています。。 幸福な人生を送るために必要なものは何か？その問いに対する答えは、「富」や「名声」ではなく、意外なくらい身近でありふれたものです。 その答えを、本書を読んで確認してください。
② 図書名：　武器になる哲学―人生を生き抜くための哲学・思想のキーコンセプト 50 著　者：山口周 出版社：KADOKAWA　　ISBN：978404602391	哲学というと「実世界では使えない教養」と捉えられてきたが、実際は、ビジネスパーソンが現状のシステムへの批判的精神を持つために、重要な示唆を与えてくれる学問である。「内容紹介（裏表紙より）」 多くの「哲学入門」の本が、時間軸すなわち「哲学史」を編集の軸においているのに対して、本書は、今の自分たちに役立つ内容かどうか、という基準で編集されており、また、役立つものであれば哲学以外の領域もカバーしています。①「なぜ、人はこんなことをするのか」を考えるために、②「なぜ、組織は変われないのか」を考えるために、③「今、何が起きているのか（社会）」を理解するために、④よくある「思考の落とし穴」に落ちないために、役に立つ 50 のキーコンセプトが紹介されています。
③ 図書名：日本の歴史 00　「日本」とは何か 著　者：網野善彦 出版社：講談社　　ISBN：9784062919005	「日本」という国号はいつ決まったのか。海に隔てられた「島国」に単一民族が住み、独自の文化が育まれたのか。東にも西にも稲作が行きわたり「百姓」が均質な社会を作っていったのか――この国の成り立ちに関する常識や通説に向けて問題を提起し、新たな列島像を展開した。「内容紹介（裏表紙より）」 多くの人は、中学や高校で学習した日本史でその時々の権力者を中心にした政治（統治）の歴史を学び、日本という国に対しての国家観・歴史観を形成してきたのではないでしょうか。本書は、権力者側からの視点ではなく、その地域それぞれの（今の言葉でいうところの）「民間」の歴史が記されています。本書を読んで、日本という国に対する国家観・歴史観はかなり変わりました。自分の地域の歴史についても調べたくなります。